



看護師2人1組で看護業務に取り組む



看護業務の振り返り

当院では看護方式としてパートナーシップ・ナーシング・システム（PNS）を導入しています。  
詳しくは6ページ目をご覧ください。

# 新年のご挨拶

院長 莊田 恭仁

新年あけましておめでとございませす。平成最後の年となりました。

邑智病院では平成30年は病床稼働率が90%近く、経営も比較的順調であったように思われます。これまで当院を温かく支えてくださった地域住民のみなさまに深く御礼申し上げます。ただし当院は急性期も扱う病院であり、入院が多かったことで病院の職員の仕事量も多く夜遅くまで残業をがんばってくれたスタッフの疲労度も大きかったのではないかと思います。最近、少子化の影響で若年人口が減少しており、全国的に働き手が不足している深刻な問題になっているとよく耳にしますが、邑智病院も例外ではありません。医師をはじめ、看護師、薬剤師など人手が足りません。この地域の医療を守るために一緒に汗をかいてくれる人材を募集しています。もしみなさんのお知り合いで邑智病院での勤務に興味を持たれている方がおられましたら是非ご連絡をお願いします。

邑智病院では老朽化した本館棟の建て替え計画を昨年度からスタートいたしました。この地域の将来に必要な病院のあるべき姿を考えてよりよい事業

にするため知恵をしぼろうと思っております。本年もどうぞよろしくお願いたします。



前列右から松島診療技術部長、田形看護部長、莊田院長、桐原副院長、笠岡地域連携室長  
後列右から日高事務部長、藤本歯科部長、大本整形外科部長、高橋小児科部長、酒井総合診療科部長

## 院内災害対策 訓練の報告



総合診療科医長  
山崎 啓一

近年、地震や豪雨などの自然災害が日本全国で多く発生しています。邑智郡も今年も地震、豪雨を経験しました。今や邑智郡を含め、日本中いつでもどのような災害が起きるかわからない状況です。そのような災害時に備えるため、当院では毎年、災害や多数の傷病者が生じるような交通事故などを想定し、災害対策訓練を行っています。今年も11月10日に行いました。

今年度は、先の西日本豪雨のような豪雨・土砂災害の発生を想定して院内の対策本部立ち上げ、組織作りに重点を置いた訓練を行いました。災害時において、非日常的な災害に特化した災害対策本部を立ち上げ、その指揮命令系統の下で病院機能を保つため、指揮命令系統、安全確保、情報共有を重点的に行い、評価を繰り返す行い、本部として機能させることを共通の目標として訓練にあたりました。

訓練が進むにつれて徐々にスムーズ

に情報共有が行われ、職員全体で「組織作り」という共通の目標を達成するために協力して訓練に臨むことができました。災害対策時の問題点、改善点も見えた充実した訓練となりました。「悲観的に準備し、楽観的に対処せよ。」危機管理に対してこうした言葉があるように、これからも訓練で満足せず、緊急時にも住民の皆様のお力になれるよう、災害対策委員会中心に活動してまいります。



災害訓練の様子



災害対策本部立ち上げの様子

# 教えてDr!!

## 肺炎について



総合診療科医師  
吉村 美咲

日本人の死因の中で肺炎は、がん、心疾患に続いて第3位となっています。肺炎で亡くなる方は年間約12万人で、65歳を超えると、肺炎による死亡率は急激に上昇します。



肺炎の原因菌として多いのが肺炎球菌という菌です。この菌に対しては65歳以上の方でワクチン接種の適応があります。また公費助成の場合もありますので、お住まいの市町村に確認し、受けるようにしましょう。毎年のインフルエンザワクチンの接種も大切です。

また誤嚥性肺炎という言葉聞いたことがあるでしょうか。これは誤嚥（食べ物や唾液などが誤って気道内に入ってしまうこと）から発症する肺炎のことを指します。飲み込みに関係する機能が低下する（嚥下機能障害）ことにより起こりやすくなります。

この予防策としては口腔内を常に清潔に保つこと、誤嚥しにくい食事内容にすることが大切です。肺炎予防のためワクチン接種に加え、栄養の偏りをなくし、口腔ケアや禁煙なども日頃から心がけましょう。

38度以上の熱、咳が長く続き治らない、息苦しい、呼吸が早くなるなどの症状があれば風邪ではなく肺炎かもしれません。早めの病院受診をおすすめします。



## 歯科訪問診療を始めました



歯科診療部長  
藤本 伸一

### ○歯科訪問診療とは

何らかの身体的、精神的理由で歯科診療所に通院できない方に対し、歯科医師、歯科衛生士が自宅等に訪問し、歯科診療や（\*）専門的口腔ケア、飲み込みのリハビリを行います。

### ○対象者

邑智病院から原則半径16キロ圏内に居住し、在宅等で療養を行っており、疾病、傷病のために通院による歯科診療が困難な方が対象になります。

なお、内科等の他科に通院している方は対象から除かれることがあります。

### ○歯科訪問診療の内容

在宅歯科医療には、次の3つの柱があります。

#### 1. 歯科診療

歯周治療、義歯の調整（修理・作成）、虫歯予防などですが、診療室での治療と異なり、可及的な処置となります。また、抜歯などの観血的処置は基本的

には行いません。

#### 2. 口腔のケア

専門的な口腔清掃と、患者さんや家族（介助者）へ清掃指導をします。

#### 3. 口腔リハビリテーション

摂食嚥下リハビリテーションや唾液腺マッサージなどを行います。

以上の3つの柱は、疾病の内容、疾病のステージや時間の経過とともにその比重が変化していきます。

当科では、継続的な口腔ケアと口腔リハビリによる口腔機能低下の予防に重点を置いています。

詳細については、当院地域連携室にお問い合わせください。

### （※）専門的口腔ケア

様々なケースに対応できる能力を持った歯科専門職がケアを必要とされる方の身体、精神的状況や環境に配慮する形で口腔のケアプランをたて、実施する口腔ケアを指します。

（参考資料：テーマパーク8020 ホームページ 一部改変）



私たちが訪問します

# キラリ 地元人

## 地域医療実習

昨年10月から2週間、地元出身の島根大学医学部5年生、樽田美穂さんと日野原雪乃さんが地域医療実習に來られ、実習を終えた感想などを聞きました。



樽田 美穂さん

**Q1. 医師を目指すきっかけはなんで**

**か??**  
祖母の存在が大きいです。私の祖母は癌のため長年治療していました。徐々に病状が悪化していく祖母を目の前にももてできない悔しさを感じました。そうした体験を通して病気で苦しんでいる人を助けられるようになりたいと思ったのがきっかけです。

**Q2. 地元の医療を外から見て、どう**

**か??**  
一つの専門分野に限らず幅広い領域の疾患を扱っていることが分かりました。また、ドクターヘリによる大病院への搬送の様子などを見学して、軽傷から重症までそれぞれの対応も整えられていることが分かりました。

**Q3. 実習を終えていかがでしたか??**

総合診療科を初めて実習させていただき、その名の通り本当に幅広い領域を扱っているということを実感しました。大病病

院では初診でもある程度患者さんの疾患の領域が分かった状態であることが多いと思います。しかし、総合診療科では患者さんの症状からたくさん鑑別診断を挙げ、必要な検査を考えるというような過程で先生方の知識量の多さに驚きました。私自身もさらに勉強しなければと身が引き締まる思いがしました。

**Q4. 地域医療にふれてみてどう**

**か??**  
一番印象に残ったのは医療者と地域住民の関わり方の深さでした。河野医院の先生は「ナシ無しで患者さんの家は全て分かるし、家族みんなをまとめて診ている」とおっしゃっていて、実際の往診で本当にその通りだと感じました。このことで住民全体と生活のレベルから関わる地域医療にも興味が増えました。



日野原雪乃さん

**Q1. 医師を目指すきっかけはなんで**

**か??**  
きっかけは沢山ありますが、一番は高校の入学式で石橋町長から「医師不足が深刻」というお話を聞き、何か力になればと思ったからです。

**Q2. 地元の医療を外から見て、どう**

**か??**  
大学では他科に頼ることもできますが、地域の病院では一人で色々なことをこなす力が要求されると思います。

**Q3. 実習を終えていかがでしたか??**

地域医療は一人でこなすというイメージがあり、恐怖心などがありました。先輩医師が楽しそうに働いておられる姿を見て、そういう気持ちも少し緩和されたように思います。

**Q4. 地域医療にふれてみてどう**

**か??**  
やはり地元はいいなと感じました。



総合診療科医師のマンツーマン指導

## 医療系学生との交流会を実施

5名の学生さんと、特別ゲストとして島根大学医学部附属病院整形外科医師の奈須友裕先生にもご参加いただき、座談会形式で交流会を行いました。「卒業後のキャリアプランに対するヒントが得られた」「地域医療に貢献したい」などの声が聞かれたほか、同年代で他学部の学生同士の横の繋がりが広がる情報交換が行われました。



## 中村秋穂先生(産科)が診療応援に來られました

川本町出身の中村秋穂先生が当院の産婦人科へ診療応援に來られ、インタビューをさせて頂きました。

**Q. 地元に戻って来られる診療はどの**

**か??**  
小さい頃にお世話になった邑智病院で、医師として診療でき感慨深いです。医学生の時にもこちらで実習させていただきましたが、地元出身ということも患者さんや職員の方々から温かい言葉をかけていただくことも多く、大変嬉しく思います。

**Q. 医師として大切にしていることはな**

**ですか??**  
出来るだけ笑顔でいることを心がけています。患者さんに信頼していただくには、まずは自分が患者さんへ心を開き、「コミュニケーション」を取ることが大切だと思います。円滑なチーム医療にも笑顔は欠かせません。

**Q. これからの目標はなんですか??**

まずは産婦人科医として一通りのことが出来るようになるために、ひとつひとつの経験を大事に積み重ねていきたいです。目の前の仕事に忙殺される時もありますが、初心を忘れずに毎日過ごしたいと思います。将来的には地元の産婦人科医療を担う一員となることが目標です。



診察される中村先生

# 職員募集

**急募!**

【臨時職員・パート職員】

○看護アシスタント

「食事介助、排せつ介助、入浴介助、ベッドメイキング、メッセンジャー業務」

○医療事務

「受付、電話対応、患者対応、パソコン入力(ワード・エクセル)など」

○医師クラーク

「医師業務の事務的な作業補助(電子カルテの代行入力、診療や検査の予約、各種書類作成補助など)」



○調理員

(調理師免許有ればなおよし)

「調理、食材準備、盛り付け、食器洗い、病棟への配膳など」



## 採用試験案内

※勤務時間や勤務日数など働き方の相談ができます。  
※いずれも経験は問いません。

○職員採用試験(随時実施)

【募集職種】 薬剤師・看護師

【応募資格】 各募集職種資格を有する者又は、平成31年4月までに当該免許を取得する見込みの者。年齢不問。

【受付期間】

平成31年2月8日(金)まで

☆しめ切り間近!

【試験内容】

エントリシートによる書類選考、作文試験及び面接試験

○任期付短時間勤務職員採用試験

(随時実施)

【募集職種】

看護師・准看護師・介護福祉士・看護アシスタント・調理師・調理員・医師クラーク

【受付期間】

平成31年2月8日(金)まで

☆しめ切り間近!

【試験内容】

書類選考・作文試験及び面接試験

↳任期付短時間勤務職員とは↳

週4日または、週5日(31時間〜35時間勤務)ですがフルタイム勤務も可能です。一時金(年2回)、通勤手当あり。

※詳しくは、ホームページをご覧ください。  
るか、お問い合わせください。

☎総務人事係

0855-95-2111

## 就職相談会

2月3日(日)

10:00 ~ 14:00

場所: 邑智病院

平日8:00 ~ 17:00の間は、いつでもご相談いただけます! お気軽にお問い合わせください。

## ※事前申し込み不要!

- このような方は是非ご来院ください!
- 地元に戻って働きたい
  - 子育てと両立したい
  - 医療資格を活かしたい
  - 公務職場で社会貢献したい
  - 短時間勤務で働きたい
  - 病院で働いてみたい

☎総務人事係 0855-95-2111

# 小児科研修報告



総合診療科医師  
福島俊太郎

総合診療科の福島俊太郎と申します。私は現在、島根大学の小児科専門医プログラムを履行しており、総合診療科の医師として診療をしながら、小児科専門医の取得を目指しています。

この機会をいただき、2018年11月1日から30日まで、浜田医療センターの小児科で研修をさせていただきました。浜田医療センターでは年間約500件のお産があり、新生児の診療を中心に、外来や検診なども研修してきました。お産にたちあって新生児の蘇生をしたり、診察やエコーなどの基本的な手技を習得すべく、毎日たくさん子どもたちを診させていただきました。

普段診る機会の少ない新生児や小児の診療に、最初は戸惑ったりもしまし

たが、指導医の先生方から熱心に教えていただき、小児医療の奥深さとやりがいを実感することができました。

研修期間中は、邑智病院に入院中や入院中の患者さんをはじめ病院スタッフの方々にご迷惑をおかけしましたが、ご理解で協力いただき誠に感謝しております。子どもからお年寄りまで診ることが出来る総合医を目指し、邑智病院に貢献できるよう自分を磨いていこうと思います。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。



## パートナースhip・ ナーシング・システム の研修を終えて



看護部長  
田形 成美

看護部では平成27年度から「パートナースhip・ナーシング・システム(PNS)」という看護提供方式を取り入れ、今年で4年目となります。このPNSは、効率よく患者さんや家族の方に質の高い看護サービスを提供するというものです。パートナースhipで看護を行うと共に、病棟全体が一丸となって看護を行っていくシステムです。

看護師が二人三脚で行うPNSには、さまざまなメリットがあります。2人が協働して看護実践を行うため、お互いの知識や経験などを伝え合い、教育だけではなく看護を振り返るよい機会となります。必要な時に声をかけ合って、スムーズに効率よくケアを行うことができるのです。たとえばナースコールの対応を一人がしても、もう一人は患者さんから離れず対応することができま

すので患者さんをお待たせする時間が短縮されます。また、患者さんの観察点やケアのポイント、医師からの指示を二人で確認することで、安全性が高まり相談しながら看護を行っていきます。

このPNSのメリットが有効に活用できているか、先日PNSの開発者である福井大学医学部附属病院看護部統括看護師長・PNS担当師長 上山香代子先生にお越しいただき、現場の評価と講演会を開催しました。

限られた時間の中で2人が協働して業務の工夫を行い、「できない」を「どのように工夫したらできるか」と考え方を前向きに切り替え、これからは患者さんが安心・安全に入院生活を送れるよう取り組んでいきたいと思います。



上山先生のご講演



上山先生に業務調整のポイントについて学ぶ

## 研修医レポート！

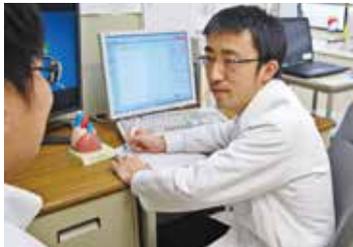


広島市立安佐市民病院

### 倉石 敦史 医師

9月の1ヶ月間、研修をさせていただきました。広島市立安佐市民病院初期研修医2年目の倉石敦史です。総合診療科の初診外来では、病気の人の診察だけでなく、定期処方や健診異常で外来受診をされた方も担当させていただき、実際に将来行うことになる医師としての外来業務を勉強させていただきました。また、手技に関しても、様々な手技を積極的に行わせていただくことができました。

地域医療は限られた医療資源で行うため、隅々まで手が届かないと研修前までは考えていましたが、個々の努力や情熱、協力で幾らでも補うことが出来ることを学ぶことができ、貴重な機会となりました。ご指導してくださいました。ありがとうございました。先生方、スタッフの方々、本当にありがとうございました。



東京医科歯科大学医学部附属病院

### 青柳 奏美 医師



9、10月の2ヶ月間のお世話になりました。東京医科歯科大学附属病院研修医の青柳と申します。総合診療科で外来や病棟での診療を中心に研修させていただきました。外来、入院から退院まで1人の患者さんを連続して担当することはこれまで殆どなかったため、とても貴重な経験になりました。特に、退院先の調整などは、これまで積極的に関わることのなかった部分だったので、悩むことも学ぶことも多かったです。

初めての場所だったので、来る前は不安もありましたが、素敵な場所が沢山あり、美味しい食べ物も多く、そしてなにより皆様のあたたかさに触れ、邑南町、島根県がとても大好きになりました。2ヶ月間本当にありがとうございました。

東京医科歯科大学医学部附属病院

### 坂東 夏菜 医師

10月から11月まで邑智病院で研修をさせていただきました。研修医の坂東夏菜と申します。邑智病院では初診外来、救急外来、入院患者さんの診療をさせていただきました。邑智病院では大学病院よりも患者さんや病院スタッフの方との距離が近く、患者さんの生活をより意識した診療を行うことができました。

また、一度外来で診察の際にお会いしただけに、名前を覚えて声をかけてくださる患者さん多いらっしゃって、嬉しい気持ちでいっぱいでした。ここには書ききれないくらいたくさんの方の貴重な体験をさせていただきます。邑智病院で学んだこと、感じたことを活かして今後の診療に励んでいきたいと思えます。2ヶ月間ありがとうございました。



東京医科歯科大学医学部附属病院

### 北村 拓也 医師



東京医科歯科大学研修医の北村です。僕は11月と12月の2ヶ月間、邑智病院で研修をさせていただきました。これまで研修してきた病院では診療科ごとの主治医(オーベン)やチームのサポートのような立場で診療に関わることが殆どでしたが、邑智病院では初診対応、入院決定、インフォームドコンセント、治療、退院決定まで、担当医として主体的に診療に関わらせて頂きました。

不慣れな所もあり悩むことも多々ありましたが、主治医にはもちろん、他の先生方にも気軽に相談することができました。それ以外にも内科全般を診る初診・救急外来、転院搬送時の救急車同乗など、大学病院の研修ではできないようなことを経験させていただきました。本当にありがとうございました。

## 職員学会発表報告

当院職員が各学会に参加し、日頃の業務の中で見出された研究や考察をまとめた全6演題を発表しました。

**第58回全国国保地域医療学会(徳島県)**

平成30年10月5日・6日

**食改善プロジェクト3年間の報告**

管理栄養士 橋田 和希

**第57回全国自治体病院学会(福島県)**

平成30年10月18日・19日

**クラウド型安否確認システムによる**

**危機管理の事例報告**

事務部長 日高 武英

**特定行為を行う診療看護師の養成と**

**地域医療での活動報告**

看護部長 田形 成美

**当院における褥瘡データ管理**

診療看護師長 日高 美晴

**日本転倒予防学会第5回学術集会静岡県**

平成30年10月6日・7日

**地域包括ケア病棟退院後の転倒事故に**

**影響を与える重要因子の検討**

**—転倒ゼロの退院支援を目指して—**

看護師 寺脇 知未

**公立邑智病院における転倒・転落の現状把握**

主任理学療法士 池本 祐貴

発表した各ポスターを当院研修棟で掲示しております。ぜひご覧ください。



各学会に参加した職員



## 地域連携室

### 連携の窓口としての活動 顔が見える関係づくり

地域連携室長 笠岡千代子

5年前から地域連携室では、他の病院や診療所とのスムーズな連携ができるように、邑智郡内の病院や診療所、或いは紹介患者の多い島根県をはじめ広島県の近隣病院へ訪問をしています。この訪問により有益な情報収集をはじめ多種多様な情報交換を行うことができ、交流を図るなどお互いに信頼関係を築いてくることができました。

各医療機関への訪問頻度は、年1回から2回程度ですが、お互いに近況や変更になった診療体制等、また、紹介患者さんの情報共有等を中心にきめ細やかな共通認識がもてるよう取り組んでいます。

更に今年度から、医科の診療所に加え、歯科診療所へもお伺いさせていただきます。色々なお話を聞かせていただくことができました。診療所の先生方には、診療のお忙しい時間にもかかわらず、私たちのために時間を作っていただき大変感謝申し上げます。

また、近隣病院の地域連携室へも

お伺いさせていただき、「邑智病院から患者さんを紹介する時や、逆に邑智病院が患者さんの紹介を受け入れる時」、「スムーズな連携で繋ぐ工夫」などをテーマに情報交換することができました。

このように、診療所の先生方や近隣病院の地域連携室の皆さんと直接お話しさせていただき、「顔の見える関係づくり」の機会が以前と比較して増え連携しやすくなりました。訪問の回数を重ねるごとに患者さんやご家族に対して、より迅速でなおかつ適切な情報提供ができるようになったと手応えを実感しています。

今後も、よりスムーズな連携を目指して、しっかりと訪問の機会を作って継続して行きたいと考えています。



診療所訪問の際のひと場面 (上田医院)

# 連携

**田舎でも最新歯科医療を提供できるように**



**岸歯科医院**

**院長 岸 祐治 先生**

教室の研究員になり、同時に祖父の病院を改築して開業しました。大正時代の建物で漏電により全焼して、新たに27年前に建てたのが今の歯科医院です。

私の理念として、最新の歯科医療を提供するために、日本歯科先端技術研究所と日本口腔インプラント学会に所属し、30、40歳代は毎週のように全国に勉強に行き、妻や子供には苦労させました。おかげでフェロー・マスター・専門医の資格を取得しました。50歳代は、腰を落ち着けて、60歳になった現在、どのような形・何年まで歯科医院を継続していくかも考えないといけません。

**▽地域の現状はいかがですか。**

開業当初の30年前は、虫歯の洪水で、虫歯治療との戦いでした。そこで、園児からの意識改革のため保健課と保育園と始めたのが「母親教室」でした。歯の大切さ・噛むことの大切さを講話やブラッシング指導をして30年が経ちました。今では、島根県で一番虫歯の少ない園児となりま

した。保育園と保護者の皆様に感謝いたします。

食生活が大きく変わり、虫歯から歯周病が大きな問題となり、口腔機能や歯周病と全身疾患（糖尿病・脳や心疾患・認知症など）が大きく関連することが分かってきた今、医科・歯科に留まらずあらゆる分野との連携が必要不可欠となりました。

また、この地域での一番の問題は、高齢者の足の確保だと感じます。我々歯科医院も、移送出来ない患者さんのために往診もしておりますので、ケアマネにご相談ください。

**▽邑智病院との思い出はありますか。**

患者さんの紹介はもちろんですが、全身疾患との関連した研修会に参加したり、いろんな分野の医療連携の中核として今後も、邑智郡の医療を支えて行っていただきたいと思っています。

30年以上開業していると、小さかったあの子が邑智病院の職員になっていたりと驚かされます。また、邑智病院主催のゴルフコンペや先生方との懇親会も楽しみにしております。

公立邑智病院と連携いただいている診療所の先生をご紹介します。第9回目にご紹介する先生は、岸歯科医院の岸祐治先生です。

**▽岸歯科医院の歴史を教えてください。**

江戸時代に殿様から砂鉄で栄えたこの地に行けと命じられた三代続く町医者で、父は高校教師でした。姉も歯科医院に嫁ぎ、兄も歯科医師（広島開業）になり、私も日本歯科大学を卒業後、兄の歯科医院に勤務しながら、広島大学歯科第一補綴学

**岸歯科医院**

〒696-0103 島根県邑智郡邑南町矢上28

電話 0855-95-0010

【診療科】 歯科

【診療日時】

診療時間	月	火	水	木	金	土
9:00~13:00	○	○	○	○	○	○
14:00~18:00	○	○	△	○	○	△

※訪問診療も行っています。



# 外来診療担当一覧表（平成31年2月1日から変更します）

※山崎医師は研修のため1カ月不在となります。

		月	火	水	木	金	診療時間	備考
内科	総合診療科* 1診	中村和史	福島俊太郎	酒井和久	吉村美咲	酒井和久	8:45~11:30	初診
	総合診療科* 2診	吉村美咲	中村和史	福島俊太郎	酒井和久	福島俊太郎	8:45~11:30	再診 予約制
		—	中村和史	—	中村和史	—		
	内分泌代謝*	野津雅和 (島根大学医学部附属病院)	—	三宅隆明 (島根大学医学部附属病院)	—	—	9:30~11:30	予約制(隔週)
	循環器*	—	—	—	—	土手慶五 (広島市立安佐市民病院)	9:00~11:30	予約制 (毎月1回 第3金曜日)
心療内科*	—	—	—	—	平田正名	8:45~11:30	再診は予約制 ※第1・3金曜日は休診	
外科 (一般・肛門)	桐原義昌	桐原義昌	桐原義昌	桐原義昌	桐原義昌	9:00~11:30	木曜日のみ予約制	
整形外科	大本 修	大本 修	島大医師	大本 修	大本 修	9:00~11:30	木曜日のみ初診の 受付時間は10:00まで	
小児科	高橋知男	高橋知男	高橋知男	高橋知男	高橋知男	8:45~11:30	〔予防接種〕 月曜日 14:00~16:30(予約制) 水曜日 14:30~16:30(予約制) 〔乳児健診〕 14:00~14:30(予約制)	
	(予防接種)		(乳児健診) (予防接種)	—		14:00~16:30		
産婦人科	荘田恭仁 (島大医師)	荘田恭仁	荘田恭仁	荘田恭仁	荘田恭仁	9:00~11:30	第2・4月曜日は島大医師 〔母乳外来〕13:00~(予約制) 〔婦人科健診〕 毎週金曜日	
泌尿器科	安食春輝	安食春輝	—	安食春輝	—	9:00~11:30		
麻酔科	—	—	石原 晋	—	—	9:00~11:30		
皮膚科	—	—	—	島大医師	—	9:00~11:30	予約制 初診時は要紹介状	
歯科	藤本伸一	藤本伸一	藤本伸一	藤本伸一	藤本伸一	8:30~12:00 14:00~17:00	予約制 ※第1火曜日は休診	
精神科	—	—	—	—	篠崎克也 平田正名	13:00~17:00	予約制 初診時は要紹介状	

## 特記事項

- 受付時間は精神科・歯科・小児科(火・金)を除き、いずれも午前11時30分までとなっています。ただし、予約のある方はこの限りではありません。
- 土、日祝日及び年末年始(12月29日~1月3日)は外来診療は行っていません。
- 受付機では午前7時00分から、総合窓口では午前8時30分から受付が出来ます。受付機で受付が出来ない時間帯につきましては、総合窓口までお越しください。
- 過去5か月以上来院のない方や保険証の期限切れの場合など、受付機での受付が出来ませんので、総合窓口までお越しください。
- 疾患別リハビリテーションの実施時間は午前8時30分から午後2時30分です。
- \*は院内標榜

## ご寄附ありがとうございました

金山 峰子 様(邑南町)

## 公立邑智病院を支援する会 ボランティア活動のご紹介



イルミネーション設置ボランティア



落ち葉ひろいボランティア



公立邑智病院を支援する会の方々のご協力により、イルミネーション設置、落ち葉ひろいなどのボランティアを行っていただきました。寒い夜もイルミネーションの光がやさしく病院をつつんでいます。あたたかいご支援ありがとうございました。

### お問い合わせ先

邑智郡公立病院組合 公立邑智病院地域連携室  
TEL 0855-95-2111  
FAX 0855-95-2727

〒696-0193 島根県邑智郡邑南町中野3848-2

ホームページアドレス [邑智病院 検索](http://www.onchihospital.jp/)

<http://www.onchihospital.jp/>